



平成20年 9月19日

日本の地震・津波防災を習得した研修修了生 25 名が帰国

(「第48回国際地震工学通年研修」が修了)

16ヶ国25名の研修生は、昨年10月に開講した「第48回国際地震工学通年研修」を修了し、全員、修士号学位を得て、無事帰国することになりました。

この研修は、独立行政法人建築研究所が、毎年、開発途上の地震国から若い研究者や技術者を招き、地震学・地震工学・津波に関する研修を行っているものです。これで、これまでの研修修了生は1,357名になりました。

今回修了した25名の研修生のうち、①今年5月の四川大地震により甚大な被害のあった中国からの参加者は、谷垣国土交通大臣を表敬訪問した際に、研修生を代表して、「昨年、この研修に参加した研修生が、日本で習得した知識や技術を活かし、被害調査に携わっており、日本での経験は、帰国後必ず私達の職務に活かせるものと確信しています」と、大臣に研修のお礼を述べました。②また、今回初めて財団法人海外日系人協会の支援により、ドミニカ共和国の日系3世が1名参加しました。③さらに、2006年2月にマグニチュード7の地震にみまわれた南東アフリカのモザンビークから初めて研修生が参加しました。

それぞれの国から参加した研修修了生は、帰国後、この研修の成果を活かし、母国の地震・津波防災の発展に、より一層寄与することが期待されています。

(内容の問合せ先)

独立行政法人建築研究所

所 属 国際地震工学センター
管理室長

氏 名 櫻 澤 昌 二

電 話 029-879-0678(直通)

E-mail sakuraza@kenken.go.jp

☆ ご面倒ですが掲載の折には、その記録を留めるため、上記問い合わせ先へお知らせ下さい。

日本の地震・津波防災を習得した研修修了生 25 名が帰国

（「第 4 8 回国際地震工学通年研修」が修了）

独立行政法人建築研究所では、毎年、開発途上の地震国から若い研究者や技術者を招き、「国際地震工学通年研修」などの地震学・地震工学・津波に関する研修を国際協力機構（緒方貞子理事長、東京都渋谷区代々木、以下「JICA」という。）と協力して行っています。現在までに 95 ヶ国から 1,357 名（今回の修了生 25 名を含む）の研修生を受け入れ、国際協力、技術援助の分野で高い評価を頂いています。平成 17 年度から、「国際地震工学通年研修」は、建築研究所及び政策研究大学院大学（八田達夫学長、東京都港区六本木、以下「GRIPS」という。）、JICA との連携により、所定の単位を取得すれば、修士号学位の取得が可能な研修として実施しています。

昨年10月に開講した「第48回国際地震工学通年研修」は、約1年間の研修を修了し、参加した16ヶ国25名の研修生全員に修士号学位を授与し、下記のとおり閉講しました。

去る9月17日(水)に、GRIPSで「学位記授与式」が執り行われ、八田達夫GRIPS学長及び村上周三建築研究所理事長の連名による「修士号学位記」を研修生に授与しました。

さらに、翌18日（木）には、伊藤弘建築研究所理事及びJICA筑波幹部、岡崎健二GRIPS教授、建築研究所幹部の出席のもと、建築研究所で「閉講式」が行われ、伊藤理事から研修を修了したことを証する修了証書が、JICA筑波・金子課長からJICA研修修了証書が、古川信雄建築研究所国際地震工学センター長から履修内容を明記した履修証明書が全研修生に手渡されました。

そして、母国を遠く離れて約1年間の日本での研修生活を終えた25名の研修生は研修修了証書及び修士号学位記等を手に、19日（金）以降、帰国の途につきます。

なお、①今年5月の四川大地震により甚大な被害のあった中国からの参加者は、谷垣国土交通大臣を表敬訪問した際に、研修生を代表して、「昨年、この研修に参加した研修生が、日本で習得した知識や技術を活かし、被害調査に携わっており、日本での経験は、帰国後必ず私達の職務に活かせるものと確信しています」と、大臣に研修のお礼を述べました。②また、これまでのJICA研修枠の他に、財団法人海外日系人協会の支援により、ドミニカ共和国の日系3世1名が初めて参加しました。③さらに、2006年2月にマグニチュード7の地震にまわられた南東アフリカのモザンビークから初めて研修生が参加しました。

それぞれの国から参加した研修修了生は、帰国後、この研修の成果を活かし、母国の地震・津波防災の発展に、より一層寄与することが期待されています。

<参考1：修士号学位を授与された研修生の出身国名（16ヶ国）>

- ・バングラデシュ、中国、ドミニカ共和国、エルサルバドル、フィジー、インドネシア、マレーシア、モザンビーク、ミャンマー、ネパール、ニカラグア、パキスタン、ペルー、スリランカ、タイ、トルコ

<参考2：関係写真>

(1) 研修生の集合写真（20. 9. 4）

（谷垣国土交通大臣(写真中央)を表敬訪問した際の記念写真）



(2) 政策研究大学院大学（GRIPS）・学位記授与式（20. 9. 17）

- ① 村上建築研究所理事長が研修生に修士号学位記を授与



② 修士号学位を授与された研修生25名と研修関係者



(3) 第48回 国際地震工学通年研修 閉講式 (20. 9. 18)

① 伊藤建築研究所理事が研修生に修了証書を授与



② JICA 筑波・金子課長 (写真右) が研修生に修了証書を授与



③ 古川国際地震工学センター長が研修生に履修証明証を授与



④ GRIPS・岡崎教授の祝辞



⑤ 研修生代表の答辞

